

【教育目標】

校訓 「礼讓 至誠 勤労」

(1)本校の教育目標 「よい子」「つよい子」の育成

(2)経営方針 「温かい笑いと楽しみのある、魅力あふれる学校」

- 「温かい笑い」…子供たちに優しい、思いやりのある心を育む
- 「楽しみ」…子供たちが、学校に来るのが（行くのが）楽しみになるような教育活動を実践する
- 「魅力あふれる」…子供たちがわくわくする学校、楽しみのある学校

ア 子供たちに「愛ある心」を育むには、教職員が子供たちに愛情をもって接しなければならない。一人の子を大切に「愛ある」教育活動を実践し、特別支援教育の視点をもって子供とかかわっていく。

イ 子供たちがわくわくする、楽しみにできるような教育活動に対しては、前例にとらわれず、「言ってみよう やってみよう みんなで伸びよう 小西っ子」のスタンスで積極的にチャレンジする教員集団をめざす。

ウ 働き方改革を推進し、自由な発想で挑戦できる環境を整備することにより、教職員にとっても魅力あふれる学校をめざす。

エ 「人生に失敗なし、あるのは学びのみ」の精神で、子供たちも教職員も失敗を恐れずに活動し、うまくいかなくてもそこから学べばよいという姿勢でチャレンジする。

(3)めざす子供の姿

- ・自分で考え、よい判断ができ、自らチャレンジする姿（よい子）
- ・心の体幹のつよい、温かく友達を支える姿とチャレンジから学ぼうとする姿（つよい子）

ア 豊かな人間性を育む	イ 健康・体力を育む	ウ 確かな学力を育む
○生徒指導の3つの機能を意識し「自己指導力」を育成 ○子供たちの主体性を引き出し、自ら企画・運営する特別活動を充実 ○人権教育の推進 ○直接体験活動の充実	○子供たちに「体を動かすことの楽しさ」を味わわせる授業や学校行事を展開 ○健康を意識した基本的生活習慣の確立 ○「わんぱくタイム」を中心とした外遊びの励行	○授業のUD化を意識し、すべての子供が「わかる」「できる」授業の展開 ○「個別最適な学び」と「協働的な学び」の推進 ○子供の思考の流れに沿った子供本位の単元づくり

元気の教職員こそが活力ある学校をつくる  
～ワークライフバランスを実現した地上の楽園プロジェクト～

- ア 超過勤務月45時間、年360時間を実現すべく「働き方改革推進委員会」を組織し、仕事内容の精選を行い、勝負どころで余力をもって子供と向き合え環境を整える。
- イ 3年生以上の学年において教科担任制を導入し、教材研究の時間確保と子供たちへ質の高い授業を提供することをめざす。
- ウ 月に一回の定時退校日、それ以外の週に一日は、なるべく早く帰る「なるはや退校日」を設け、計画的かつ効率的な勤務に努める。※長期休業中は原則定時退校とする。
- エ 記念日休暇「ハッピー ホリデー」制度を導入し、職員がリフレッシュする機会を保障する。
- オ 欠かすことができない業務に対しては、職員全員でシェアすることにより負担軽減に努める。